

秋のクマに嚴重警戒！

○ 秋のクマは、冬眠に備えて脂肪を蓄えるため、エサを探し回ります

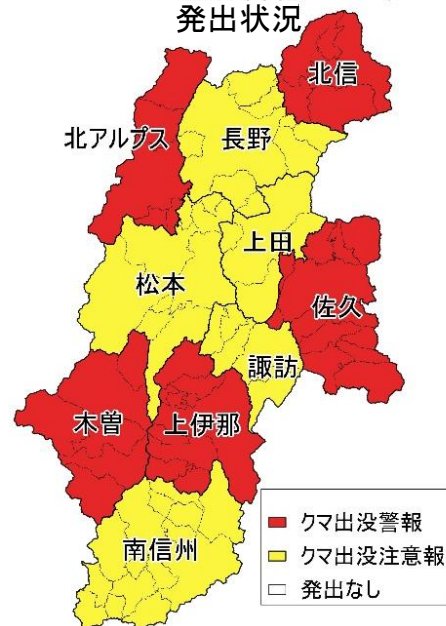
秋のクマは、冬眠に備えてブナ、ミズナラ、コナラ、クリなどのドングリ（堅果）をはじめ、ヤマブドウなど山にある食べ物を、昼も夜も探し回ります。

エサを求めて里地に出没し、カキやクリを食べることもあります。

○ 晩秋から、ツキノワグマは冬眠をはじめます

冬の間は食べ物がいないため、クマは 11 月中旬頃から概ね 12 月末まで※に、冬眠をはじめます。倒木の根本、木の根と地面とのすき間、岩穴、樹洞などのほか、背丈の高い笹ヤブの中などで冬眠しますので、入山時は近寄らないようにしましょう。※時期は目安です。地域やその年の気候により異なります。

ツキノワグマ出没警報・注意報
発出状況



クマと遭遇したり、里地に近づけたりしないよう下記に注意してください。

◇ 山の中や山の近くでは、クマ鈴、ラジオ、笛などを携帯する

クマは聴覚が人より優れており、人の存在を感じたクマは自ら逃げていきます。

クマ鈴、ラジオ、笛など音の出る物を鳴らして人の存在を知らせながら行動してください。

◇ 山に限らず里地でも、朝夕の行動は避け、行動する場合は複数人で

朝夕はクマが活発に活動する時間帯です。この時間帯に山の中または山の近くで行動することは避けましょう。

また、キノコ狩りや散歩、登山などで山に入る際は、1 人で行動せず、複数人で行動しましょう。

◇ 周囲を確認しながら移動する

釣りやキャンプで溪流沿いを移動する場合は、水の音でクマも人もお互いに気付かず、思わぬ距離まで接近してしまうことがあります。またキノコを採る森にはドングリを探すクマも現れます。キノコ等に夢中になりすぎないよう周囲を確認しながら移動しましょう。

◇ 食べ物の匂いを漏らさないよう注意する

クマは人間よりはるかに鋭い嗅覚があります。キャンプや登山等で山に食べ物を持ち込む際は、匂いの漏れない袋などへの密閉や残った食材は放置せず持ち帰るなど、クマを誘引しない心がけが必要です。人の食べ物の味を覚えたクマは危険を冒しても出没を繰り返すようになります。

◆ 里地にクマを寄せ付けない対策を

秋には、カキやクリ、リンゴなど豊かな実りがありますが、果実を収穫せず放置してしまうとクマのエサとなりクマを誘引してしまいます。収穫しない果樹はあらかじめ伐採すること、畑や果樹園等の周囲には電気柵を設置すること、ヤブは刈り払って見通しを確保するなど、クマを寄せ付けない対策をとりましょう。また生ゴミもクマのエサとなります。一度餌付いてしまうとその場所に執着するようになり、クマが人を怖がらなくなるなど、人身事故の可能性が高まります。

※長野県では、ツキノワグマ出没（目撃）マップを掲載しています。

以下 URL よりご確認ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shinrin/sangyo/ringyo/choju/joho/kuma-map.html>